

平成26年度事業報告書

平成26年度、当協会は「スポーツ文化を振興して、上田市民の健康・体力・競技力の向上とスポーツ精神の高揚を図る」ことを目的とし、市民一人ひとりがスポーツ活動を継続的に実践し、健康で生涯にわたりスポーツに親しむことが出来る、明るい社会と競技力の向上に繋がるスポーツ環境を目指し、「うえだスポーツ振興ビジョン」に基づき、当協会加盟団体及び関係機関・団体と連携し、次のとおり諸事業を実施した。

武石スポーツ協会との統合については、本年度4月1日付で正式統合の予定であったが、武石スポーツ協会での事情により、内部体制が整うまで統合は一時延期することとなった。

1. 市民の体力向上及び、競技者の競技力向上事業について

(1) 市民の健康体力づくり運動の支援について

市民が自主的な活動を行うことのできる環境づくりとして、城跡公園（第1・第2）体育館・自然運動公園総合体育館・古戦場公園室内運動場の休館日を利用して、「市民健康体力づくりの日」事業を実施し、市民の健康づくりと体力向上に努めた。当初計画していた市民体力測定会は事業が重なり実施出来ず、今後の開催については検討が必要である。

○「市民健康体力づくりの日」事業

施設名	種目数	延回数	延参加者数
上田城跡公園体育館・第2体育館	6種目	47回	6,721人
自然運動公園体育館	3種目	46回	1,335人
上田古戦場公園屋内運動場	1種目	11回	500人

健康推進課：参加者への体力測定（6回／計93人）

※参加者の推移（24年度までは城跡公園体育館のみでの活動数）

区分	26年度	25年度	24年度
延参加者数	8,556人	8,386人	5,987人
延回数	104回	106回	47回

(2) 競技力向上事業の推進について

競技力の一層の向上を図るため、競技力向上事業補助金交付規程に基づき、以下の9団体に対して強化選手の指定を行ない、競技力向上への取り組みに対し補助金を交付すると共に、本年度は強化指定団体のうち、サッカー・アーチェリー・馬術競技に対し、競技力向上委員会委員による激励視察を行った。

市内で活躍するジュニアスポーツ選手の現状把握のため、各競技団体へアンケート調査も実施したが、回答率が低く進展が図れず、今後の推進方法等に課題が残る結果となった。

○ 26年度強化選手

- ・上田陸上競技協会 (1団) 上田東御小県駅伝チーム(再)
- ・上田アーチェリークラブ (1人) 宮原雅(再)
- ・ボウリング連盟上田支部 (1人) 竹下将弘(再)
- ・上田乗馬倶楽部 (4人) 増田真七海(再)、山下大貴(再)、中村瑠佳(新)
増島爽平(新)
- ・上田レスリング協会 (1団) 上田西高レスリング部(再)
- ・上田剣道連盟 (3人) 澤田かおり(再)、大木恵満(再)、田中功一(新)
- ・上田市サッカー協会 (1団) F.C上田ジェンシャン(再)
- ・上田柔道協会 (6人) 勝見藤一(再)、丸尾泉(再)、内山貴之(再)、中沢真樹(再)
春日啓孝(再)、窪田魅空斗(再)
- ・上田スキークラブ (2人) 今井胡桃(新)、今井郁海(新)

2. 加盟団体の強化発展と相互の連携強化について

日頃から地域に密着した活動を行っている競技団体・地域体育協会と連携協力して、市民のスポーツ大会や各種教室など、広く市民を対象としたスポーツ事業を支援し、地域のスポーツ振興を図り、加盟39団体において自主的なスポーツ活動がスムーズに実施できるよう、総合企画委員会を中心に協議し、運営支援を行った。

3. 市民体育大会、講習会及び各種のスポーツ事業等の開催並びに支援について

競技種目団体と協働して、上田市民総合体育大会・各交流スポーツ大会等各種大会を開催すると共に、上田古戦場ハーフマラソンなど大規模なイベントも加盟団体と綿密に連携し、市民の競技スポーツ活動の機会を提供する事業を実施した。

(1) 第63回市民総合体育大会の開催

競技種目団体が主管し大会運営を行い、スポーツ交流を通じて、スポーツ振興とスポーツ精神の高揚を図った。

○参加者の推移

区 分	26年度(63回)	25年度(62回)	24年度(61回)
競技種目	17種目	17種目	17種目
参加者数	3,271人	3,068人	3,180人

○実施種目 17種目

種 目	軟式野球	ソフトボール	バレーボール	ソフトテニス	テニス	弓 道
参加者数	440人	825人	90人	324人	86人	99人
種 目	柔 道	剣 道	バスケットボール	バドミントン	相 撲	卓 球
参加者数	108人	222人	144人	221人	38人	277人
種 目	ゲートボール	ゴルフ	マレットゴルフ	グラウンドゴルフ	レスリング	
参加者数	144人	50人	130人	45人	28人	

(2) 第28回上田古戦場ハーフマラソンの開催

期 日：平成26年10月5日(日) 会場：上田古戦場公園スタート

参加者：2,541人 ※体協協力人員 222人

(3) 市民やスポーツ指導者の資質向上を目的としたスポーツ講演会・講習会の開催

○スポーツ講演会

期 日：平成26年11月26日(月) 会場：上田文化会館大ホール 参加者：495人

講 師：山本昌邦氏(アテネ五輪サッカー日本代表監督)

内 容：演題「一流選手から学ぶ目標達成へのプロセス」

○スポーツ栄養学講習会

期 日：平成27年3月7日(土) 会場：県営上田野球場会議室 参加者：52人

講 師：堀内真由美氏(管理栄養士・フードコーディネーター)

内 容：「試合時・遠征時・外食時の食事について」

○読売さわやか野球教室

期 日：平成26年6月7日(土) 会場：県営上田野球場 参加者：41名

講 師：原田治明氏、前田幸長氏

○つばめスポーツ振興協会少年野球教室

期 日：平成26年9月13日(土) 会場：市民の森公園グラウンド 参加者：93名

講 師：佐々木重徳氏、坂巻豊氏、赤井喜代次氏、渡辺孝博氏、内山憲一氏、

荻原多賀彦氏

4. スポーツに関する施設(設備)の調査研究について

前年度に取り纏めを行った体育施設の改善要望事項を、継続してスポーツ推進課へ提出した。結果として、改善出来るところから改善が図られている。

新たな体育施設の整備については、上田市議会スポーツ振興議員連盟からの呼びかけもあり、スポーツ振興議員・上田市・体育協会3者による市内体育施設整備検討会が開催され、研究を開始している。

また、新体育施設の建設研究のため、先進市の富山県高岡市・氷見市・黒部市の体育施設の状況について、下記のとおり視察研修を実施した。

期 日： 2月4日(水)～5日(木)

視察先： 富山県：高岡市 市民体育館、竹平記念体育館

氷見市 ふれあいスポーツセンター

黒部市 総合体育センター

参加者： 滝副会長1名、小林専務理事、施設委員会委員7名、事務局3名

上田市議会スポーツ議連議員2名、スポーツ推進課職員2名

5. 広報活動の推進について

市民のスポーツへの関心や理解を深めてもらうため、様々な地域のスポーツ情報を広く市民へ提供することに努めた。体育協会設立70周年記念誌発行に向けての研究も行った。

- (1) 広報紙の発行 (t o t o助成事業：スポーツ振興くじ助成金 537,000 円)
- ・広報紙名「体協うえだ」 ・発行回数：年3回 ・発行部数：各12,000部(自治会回覧)
 - ・発行時期 4月15日(第68号)、8月15日(第69号)、12月15日(第70号)

- (2) スポーツ情報の収集及び提供
- ・体協ホームページによる情報提供

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度
体育協会アドレス http://zuku.umic.jp/hp/ueda-taikyo/	アクセス件数 9,272 件	アクセス件数 12,856 件

- (3) 加盟団体のスポーツ情報を報道機関に積極的に提供し、活動結果等の掲載及び、加盟団体のPRを行った。

情報提供先：「東信ジャーナル」「信州民報」「信濃毎日新聞」「UCVスポーツだより」
「広報うえだ」「週刊上田」「上田スポーツプレス」等

6. 国民体育大会等への競技者の派遣・支援について

- (1) 国体出場選手の激励と壮行会の開催

本協会規程に基づき、上田市から長野県代表として国民体育大会に参加する選手・監督・コーチ・トレーナー等の壮行会を、体協役員・関係者の出席により盛大に開催した。
冬季国体へ出場する選手への激励は、菅平高原スキークラブを通じて行った。

壮行会：平成26年9月29日(月) ・場所：アリオ上田イベントホール
激励：平成27年2月16日(月) ・菅平高原スキークラブ：正木会長へ

※上田市関係国体出場者の推移

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
第 69 回長崎国体(本大会)	42 人	42 人	43 人
第 70 回群馬国体(冬季)	13 人	9 人	10 人

- (2) 国民体育大会等へ出場選手・役員の派遣については、団体代表選手として参加する各団体所属の選手、役員を加盟団体と連携し派遣支援を行った。

また、全国大会へ出場した「FC上田ジェンシャン」へは、特別激励金の贈呈を行った。

- (3) 市内事業所等が行う社内スポーツ大会等には、競技団体と協力し審判員の派遣を行った。

7. スポーツ少年団の育成について

スポーツ少年団組織の基盤となる団員・指導者の登録推進に努め、単位団組織の支援と資質向上を図り、スポーツ少年団交流大会の開催や競技別交流大会への参加を推進した。

○ スポーツ少年団登録状況

年度	登録団数	団員数	指導者数	役職員
平成 26 年度	45 団体 (27 種目)	2,059 人	538 人	11 人
平成 25 年度	43 団体 (27 種目)	2,059 人	525 人	7 人

(1) 交流交歓事業の開催

○長野県スポーツ少年団東信地区競技別交流大会（軟式野球競技）

期日：4月26日（土）～27日（日） 場所：千曲川河川敷上堀グラウンドほか
参加者：80人

○長野県スポーツ少年団東信地区競技別交流大会（テニス競技）

期日：6月1日（日） 場所：上田古戦場公園テニスコート、丸子テニスコート
参加者：89人

○長野県スポーツ少年団競技別交流大会（硬式野球競技）

期日：8月17日（日） 場所：県営上田野球場ほか 参加者：263人

○第27回上田市スポーツ少年団交流大会

期日：11月3日（月） 場所：上田城跡公園陸上競技場 参加者：406人

(2) 指導者等育成事業の開催

○長野県スポーツ少年団指導者・母集団研修会

期日：6月14日（土） 場所：城跡公園第2体育館 参加者：32人

(3) その他事業

○ 新入団員合同募集会の開催

開催日：平成27年3月1日（日） 場所：県営上田野球場 当日受付け数：332人

8. スポーツ功労者の表彰について

本協会表彰規程に基づき理事会で決定し、体育功労賞12人、栄光賞個人1人、特別賞個人1人を表彰した。また、上田市での表彰について内申を行った。

○体育功労賞受賞者（12人） 【敬称略】

白井全（上田市軟式野球連盟）、出澤譲（上田ソフトテニスクラブ）、田中久己（上田陸上競技協会）、窪田明（上田市バスケットボール協会）、丸尾泉（上田柔道協会）、藤極清隆（上田剣道連盟）、尾美槇二（上田ソフトボール協会）、畑陽子（上田バドミントン協会）、笠原邦歳（上田市ゴルフ協会）、宮澤正行（上田市スポーツダンス協会）、高藤裕実（上田市早起き野球連盟）、大井為昭（上田ウォーキング協会）

○栄光賞受賞者（1人）

長崎宏樹（上田レスリング協会・上田西高卒）

○特別賞受賞者（1人）

増田真七海（上田乗馬倶楽部）長崎国体：馬術競技：成年女子ダービー優勝

○上田市功労者表彰（1人）〔上田市体育協会長推薦〕

増澤延男（上田市体協副会長）

○上田市青少年善行表彰（1人）

高橋幸夫（上田市スポーツ少年団本部員・軟式野球指導者）

9. スポーツ交流・交歓事業の推進について

○加盟団体、スポーツ少年団において姉妹都市等とのスポーツ交流を図った。

○第17回「野球の日」野球大会を8月9日に開催し、姉妹都市の上越市をはじめ県外からのチームを招いての交流や、長野県スポーツ少年団交流大会を開催し、青少年の交流を図った。

○東日本大震災復興支援のため、宮城県南三陸町体育協会との交流交歓事業を実施した。

・期 日：平成26年8月9日(土)～11日(月) 2泊3日

・会 場：市民の森公園 他

・参加者数：選手・監督・コーチ合計72名、運営役員合計14名

南三陸町体育協会		上田市体育協会		合計
監督・コーチ他	13	監督・コーチ他	24	37
選手	10	選手	25	35
小計	23	小計	49	72

- ・受入チーム 宮城県南三陸町体育協会
南三陸町スポーツ少年団「伊里前（いさとまえ）ブルーオーシャンズ」
- ・交流チーム 上田市軟式野球スポーツ少年団・塩田少年野球教室スポーツ少年団
- ・内容他 合同練習、交流試合、上田城跡公園・安楽寺・北向観音見学、サントミュージゼ見学

10. 県大会規模以上の各種競技大会開催に向けての招致活動と開催支援について

- ・各種競技における、県大会規模以上の大会開催に向けての招致活動と、開催支援を行なった。
- ・観光スポーツを推進するため、「全日本生涯野球大会」や「第28回上田古戦場ハーフマラソン・ウェルカムパーティ」を開催した。
- ・上田市内の史跡を巡る「真田幸村公ロマンウォーク」、菅平高原を利用する「マレットゴルフ選手権大会」などが、加盟団体の運営協力により盛大に開催され、上田市の観光PRに寄与した。
- ・2019 ラグビーワールドカップ日本開催に伴う「キャンプ地を誘致する会」へ参加し、支援・協力を行った。

11. 賛助会員の募集拡大と財源確保について

- ・賛助会員の拡大を図るため、賛助会員の普及ポスターを作成し新規賛助会員の獲得に務め、未納会員には、総合企画委員と事務局において個別に協力を求めた。その結果、ある程度の成果を得ることが出来たが、厳しい経済状況から退会者も増え、財源確保の厳しさが身に沁みる環境となった。今後は、総合企画委員会中心での会員確保だけでなく、体育協会役員全員が中心となり、加盟団体と連携を図りながら財源確保に努めていきたい。

○ 賛助会員の状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

年 度	会員数	金 額	継続会員	新規会員
平成 2 6 年度	2 5 0	2 5 3 万円	2 4 3	7
平成 2 5 年度	2 5 2	2 5 6 万円	2 4 5	7

1 2. スポーツ活動中の安全管理について

- ・昨年より研究を進めていた、スポーツ指導者の賠償責任保険制度への加入については、11 団体が 27 年度より加入することになり、スポーツ指導者がより安全に、安心して指導に携われる環境整備の改善が図れた。

1 3. 東日本大震災義援金活動の継続について

- ・東日本大震災に伴う被災地（宮城県：名取市・岩沼市・亶理町・山元町・南三陸町）の青少年のスポーツ活動を支援するため、加盟競技団体等と協力して義援金募集活動を継続して行った。また、義援金活動が縁で、宮城県南三陸町体育協会とのスポーツ交流交歓事業が実現した。
- 平成 2 6 年度寄託金額：4 3 3, 1 1 8 円（13 団体）

1 4. 他機関・他団体事業との連携・協力

- ・上田市教育委員会が策定した「上田市スポーツ振興計画」に基づき、体育・スポーツ振興施策の推進を支援した。 詳細：事業報告書附属明細書

【平成 2 6 年度評議員および役員】

○評議員

任期：平成 2 5 年 4 月 1 日から平成 2 9 年 6 月開催予定の評議員会の終結の時まで
定員：5～15 名（13 名）

【敬称略】

役職名	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等
評議員	竹花 修一	上記のとおり	非常勤	無
〃	松沢 征太郎	〃	〃	〃
〃	森田 千晴	〃	〃	〃
〃	内山 富之	〃	〃	〃
〃	三好 健三	〃	〃	〃
〃	久保 孝則	〃	〃	〃
〃	荻原 周	〃	〃	〃
〃	浪方 圭三	〃	〃	〃
〃	出田 行徳	〃	〃	〃
〃	滝澤 修一	〃	〃	〃
〃	北村 修一	〃	〃	〃
〃	島田 甲子雄	〃	〃	〃
〃	高橋 敏宏	〃	〃	〃

※上野正司評議員は、自己都合により平成 2 6 年 6 月 4 日開催の評議員会で退任。

○理事

任期：平成25年4月1日から平成27年6月開催予定の評議員会の終結の時まで

定員：15～25名（23名）

【敬称略】

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
会長	森 大和	上記のとおり	非常勤	無
副会長	渌 勉	〃	〃	〃
〃	増澤 延男	〃	〃	〃
〃	丸山 俊治	〃	〃	〃
〃	小林 秀男	〃	〃	〃
〃	木島 久文	〃	〃	〃
専務理事	小林 哲夫	〃	常勤	有
理事	小林 孝俊	〃	非常勤	無
〃	金子 政夫	〃	〃	〃
〃	佐野 正樹	〃	〃	〃
〃	宮澤 怜子	〃	〃	〃
〃	井出 康生	〃	〃	〃
〃	富松 健夫	〃	〃	〃
〃	島田 義英	〃	〃	〃
〃	小嶋 國彦	〃	〃	〃
〃	宮下 正一	〃	〃	〃
〃	猪飼 憲二	〃	〃	〃
〃	根橋 寛	〃	〃	〃
〃	山崎 良則	〃	〃	〃
〃	下村 栄	〃	〃	〃
〃	福井 とし子	〃	〃	〃
〃	可知 義和	〃	〃	〃
〃	松井 幸夫	〃	〃	〃

○監事

任期：平成25年4月1日から平成27年6月開催予定の評議員会の終結の時まで

定員：2名以内

【敬称略】

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等
監事	長田 功	上記のとおり	非常勤	無
監事	佐藤 幸四郎	〃	非常勤	無